

- ① 開催年月日 平成31年3月19日 14:00～16:00
- ② 開催場所 宇治商工会議所(京都府宇治市宇治琵琶45番地の13)議員懇話室
- ③ 委員の出席 委員総数 7名
出席委員数 5名
放送事業者側出席者名 局次長:北川隆平

④ 議題

(1) 特別番組「こどもの居場所ってどこ」

(2) 報告事項

3月放送済みの特別番組について

4月改編について

パーソナリティの番組移動と、それに伴う新しいパーソナリティの採用について

⑤ 議事の概要

大きな社会問題を取り上げるのは難しいことだが、意欲的に取り組んでいる。

分かりやすく話されてはいるが、同じリズムで単調なのが気になる。

聞き手をひきつけるためには、メリハリが必要。現場の声があるとよりよくなる。との意見が多数出された。

⑥ 審議内容

局次長 今日聞いていただくのは、「きょうとこどもの城強化拡大事業」に関連した、特別番組です。

子ども食堂にクローズアップし、そこから見える子ども達を取り巻く状況について考える内容で、

30分番組を2本制作し、2日間にわたって放送しています。また、後日2回分をまとめて再放送しました。

パーソナリティが聞き手となり、ゲストの京都文教大学の先生と共に進行しています。

1回目の放送では、子ども食堂が誕生した背景について、こどもの貧困問題について。

2回目の放送は、官民学で取り組んでいる子ども食堂について実例を紹介し、子どもたちを取り巻く環境について紹介しました。

今回は2日目の放送を聞いていただきます。

～同録～

局次長 番組意図は、子ども食堂の紹介や来てもらう事ではなく、どういった目的で運営されているか

また、こどもの居場所としての子ども食堂の役割を伝えるものです。

放送エリアでも様々な目的趣旨で運営されている子ども食堂がありますが、番組では2カ所取り上げました。

委員 パーソナリティは、落ち着きがあって上手でした。

委員 子ども食堂などの運営費などはどういった形になっているんですか？

局次長 助成金や企業の寄付金、フードバンクなどを利用されているようです。協力されている民生委員、大学の

先生や学生はボランティアで活動されています。

委員 多様な責任問題などで取り組みにくいものだと思いますが、それを乗り越えて運営されているのはすごいことですね。

委員 子ども食堂は、大人が食事を提供するものだと思っていましたが、番組で紹介した場所では、食育的な要素も含めた取り組みなのですね。また食を通じた子どものケアも合わせ持つことが伝わりました。

委員長 見えにくい問題に関心をもってもらう為に、放送を通じて発信していく事は意欲的だと感じた。

難しいことも多々あったでしょうけれど、この様に多様な番組作りはいいことだと思います。

教授のお話も分かりやすくとてもよかったです。質疑応答の様になり、番組の構成に工夫が欲しかった。

新聞でも、見出しや写真などがあるように、メリハリが欲しい。その方が聞く人の耳をひきつけます。

委員 パーソナリティが先生の話を発展させていくと、もう少し聞きごたえが出てくるのでは。

委員 様々な子どもを取り巻く問題について考える内容なので、あまり変化にとんだ番組は好ましくないが、
単調に感じる部分があった。

委員長 子ども食堂には学生も手伝っているようですから、学生の声が入っていると立体的になってよかったです。

委員 実際に現場に出ておられるボランティアの方を取り上げるのもいいと思います。

委員 難しい問題ですが番組を通じて、理解が深まればいいですね。